

筑後川改修100周年 技術シンポジウム

令和5年8月5日(土)

【第1部】

13:00 開会あいさつ

13:10 「筑後川改修の歴史と技術変遷」

【第2部】

13:40

「流域治水とこれからの河川技術者へのメッセージ」

講演：藤田光一氏(国立研究開発法人土木研究所 理事長)

14:50

パネルディスカッション

国立研究開発法人 土木研究所 理事長
前(株)東京建設コンサルタント 顧問
九州大学 大学院 工学研究院 教授
筑後川河川事務所 調査課長 経験者

「筑後川改修のこれから」

藤田 光一・・・コメンテーター

大和 則夫

矢野 真一郎

浦山 洋一 (H16~H17)

阿部 成二 (H19~H20)

甲斐 浩幸 (H24)

工藤 勝次 (H27~H28)

牟田 弘幸 (H29~H30)

川上 義幸・・・司会進行

一般社団法人 北部九州河川利用協会

17:00 閉会

会場：久留米シティプラザ 久留米座
(〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1)

参加費：無料

申込方法：下記ホームページまたはQRコードからご登録ください。
参加された方には記念品をお渡しします(先着300名まで)。

<https://nriver.jp/post-2810/>

本シンポジウムは下記のCPD発行対象となっています

(一財) 河川技術者教育振興機構 CPD認定プログラム(16単位)
(公社) 土木学会 技術推進機構 CPD認定プログラム(申請中)

主催：(一社)北部九州河川利用協会 (問い合わせ先：0942-34-6733)
後援：国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 / 筑後川改修期成同盟会
筑後地区技術研修会 / (一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部



申込みフォーム

「筑後川改修100周年技術シンポジウム」の開催趣旨

筑後川においては、大正12年（1923）7月に「筑後川改修事務所」が開設されてから令和5年（2023）に100周年を迎えます。筑後川の国による直轄工事の着手は明治17年（1884）からとなりますが、その第1期改修や第2期改修は舟運を目的とした低水路工事や洪水分派を図る捷水路の第一次的な掘削そして霞堤などを主体とする改修内容でした。

筑後川改修事務所開設後から第3期改修事業に着手しましたが、それは現在につながる連続堤や捷水路などの改修を基本とするもので、この「第3期改修事業」以降を「本格的改修」としています。今年は「筑後川本格改修100周年」として、様々な記念行事が行われています。

本「筑後川改修100周年技術シンポジウム」は「本格改修100周年」を記念して、これまでの筑後川における河川改修の歴史と技術変遷を振り返るとともに、ますます厳しさを増す気候変動を踏まえて、今後の河川改修を考えてみようというものです。「技術シンポジウム」では土木研究所の藤田光一理事長を招き、基調講演とパネルディスカッションのコメントーターをお願いしております。このシンポジウムの開催を通して、河川技術者の技術力向上と筑後川流域の発展及び連携に少しでも寄与できればと考えております。

会場アクセス



※久留米シティプラザには有料の地下駐車場もございますが、数に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

CPDの発行について

CPDについて以下の組織発行のCPDを配布予定です

- 河川技術者教育振興機構 CPD認定プログラム
- 土木学会 技術推進機構 CPD認定プログラム



※表記以外のCPDに単位を登録する際、受講したことがプログラムとして認められるかどうかは、各団体のルールにしたがいます。

※CPDの配布は会場へお越しいただいた方のみを対象とする予定です。あらかじめご了承ください。

※後日、シンポジウムの動画を配信する予定ですが、CPD配布の対象になりません。



おかげさまで、（一社）北部九州河川利用協会は令和2年に創業50周年を迎えました。